

令和元年度 第2回 旭区区政会議（活力・安全部会） 会議録

1 開催日時

令和元年12月4日（水） 午後8時5分から午後8時57分

2 開催場所

旭区役所 3階第1会議室

3 出席者

(1) 委員

田中（正） 部会長、上村 副部会長、東 委員、方 委員、河村 委員、  
小菅 委員、小林 委員、齋野 委員、阪本 委員、相村 委員、砂邊 委員、  
田中（義） 委員、林 委員、疋田 委員、松本 委員

(2) 旭区役所

長谷村 企画総務課長、松原 企画調整担当課長、柴川 まち魅力担当課長、  
前田 市民協働課長、山本 防災安全担当課長

4 次第

(1) 部会長・副部会長の選出について

(2) 令和2年度「旭区運営方針」素案について

5 議事内容

○松原 企画調整担当課長

それでは、今年度の第2回活力・安全部会を開会致します。

全体会議に引き続いての開催ということで、お疲れのところ申し訳ございませんが、どうぞよろしくお願い致します。

司会を務めさせていただきます、区役所企画調整担当課長の松原でございます。よろしくお願ひ致します。

座って説明をさせていただきます。進めさせていただきます。

区政会議の部会につきましては、本来であれば議事の進行を部会長にお願いするところでございますけども、本日は新しい活力・安全部会の皆さまによる初めての会議になりますので、部会長、副部会長が選任されるまでは区役所で進行をさせていただきます。

まず、活力・安全部会に参加いただいている委員の皆さま方のご紹介でございますけども、全体会議と同様に、本日お手元にお配りしております委員の名簿、それから座席表でご参照いただきたいと思います。皆さん、お持ちでしょうか。よろしくお願い致します。

それでは、最初の議題になりますけども、部会長の選出をお願いしたいと存じます。

部会長につきましては、皆さまの互選ということでお願いをしたいと思います。委員の皆さま、どなたか部会長に立候補していただける方、ございますでしょうか。また、立候補、もしくはご推薦をいただける方、ありましたらよろしくお願い致します。

○上村 委員

清水校下地域活動協議会から来ました上村です。

今回初めてですが、勉強になりたいなと思っておりますので、部会長をさせていただきたいなというふうに思っております。

○小林 委員

公募の小林です。

私は推薦させていただきたいんですけども、全体会議で先ほど副議長に任命されて、活力・安全部会からということで代表で選ばれておりますし、また、田中正則さん、体育厚生協会ですが、私も体育厚生協会の地区委員長として7年間一緒にやらさせていただきました、スポーツフェスタ他いろいろやっているんですけども、副会長として見事にこなしておられるので、こういう場ではできるんじゃないかなと思って、田中正則さんを推薦させていただきます。

○松原 企画調整担当課長

ありがとうございます。これで、田中正則様と、それから上村道宏様のお2人ということになっておりますけども、いかがでございますでしょうか。基本的に部会長というのは進行、議事進行ということでお願いをするという役ということで、なかなか意見は言いづらいということはあるんですけども、進行として皆さま、互選ということでお願いしたいと思いますのですが、どうでしょうか。今、田中様と上村様、お2人ということになっておりますけども。

せっかくということでございますから、例えば、どちらの方が部会長、それからどちらの方が副部会長ということで構わないかというふうに思いますが、いかがでしょうか。(拍手)

じゃ、上村様、どうなさいますか、副部会長、部会長と。

○上村 委員

しっかりしゃべらしてもらってもいいんですね、副部会長ということは。

○松原 企画調整担当課長

はい、そうです。

○上村 委員

そうですね。もう議事進行はお任せして、それでしっかりしゃべらしていただくと。

○松原 企画調整担当課長

分かりました。それでは、今、田中委員に部会長、それから上村委員が副部会長でいかがかという話でございますけども、いかがでございますでしょうか。(拍手)

ありがとうございます。それでは、部会長、副部会長にはマイクの所ということでお願いをしたいと思います。上村委員、すみませんが、前の所に移動をお願い、よろしいでしょうか。資料と名札をお持ちください。

ありがとうございます。それでは、部会長、副部会長を代表して田中部会長からあいさつをお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

○田中 部会長

皆さん、こんばんは。改めまして、私の方からごあいさつという形でさせていただきます。

ただ今ご紹介いただきましたように、私、旭区の体育厚生協会の方から参りました田中と申します。どうぞよろしくお願い致します。

このたび、本部会の中で私田中と、上村様という形でご拝命をさせていただきました。どうもありがとうございます。

私は、先ほど申しましたように、現在、旭区の体育厚生協会の副会長という形で、地区内におけます各種のスポーツ事業の推進の方にちょっと力の方を注がせていただいております。そういう中で、新人でありながら、こういう形でいきなり部長という形でさせてもらっておりまして、多少戸惑いというのを感じております。実のところ、そうなんです。そういう私でありますけれども、微力でありますけれども、私と、今度、上村副部会長さんと何とか、この部会を実りのあるものという形のもので進めていかせていただきたいと思いますので、皆さんのお力添え、ご協力ということをお願いしたいと思います。また今後ともよろしくお願い致します。(拍手)

○松原 企画調整担当課長

ありがとうございました。

それでは、以後の議事進行につきましては部会長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

○田中 部会長

どうもすみません。それでは議事の方を進めさせていただきます。

まず、議題の（２）、先ほどの意見を求める事項の令和２年度「旭区運営方針」の素案についてですが、素案のうち私どもの活力・安全部会に関します部分について、皆さまから事前に意見を聞いております。その中で、その意見を事務局の方で取りまとめていただきました。それが資料 10 というので、お手元にございますでしょうか。本日配布された分だと聞いております。資料 10「令和２年度運営方針策定及び予算編成に向けた意見票」の集約という形のものであります。よろしいでしょうか。

こういうことに対しまして、ここに名前を挙げておられます松本委員、それから阪本委員のご両名から、それぞれ経営課題 3、経営課題 4 という形に対します意見を頂いております。それでもって、このご両名の方から、この提案に沿った中の説明というものをしていただきたいと思っておりますので、ご両名の方、すみませんがよろしくお願い致します。

まず、これに沿いまして、松本委員様の方、よろしいでしょうか。お願い致します。

#### ○松本 委員

すみません、初めまして。松本です。今年初めて公募委員になりまして、旭区報に公募委員の何か募集があったので、旭区報に書いてあるとお書きしたらうまく当選致しまして、私なんかでええのかなと思ひまして、やっぱりかなり難しいですね、勉強。勉強をしたいということで公募致しました。

これ、経営課題 3 でいいんですかね。コミュニティの活性化とまちの魅力の創出。よくまとめられておまして、ありがたいと思ひます。

15 ページの地域経済活性化に関連して、私の考え方をちょっと書きました。お金が要ると思いますのでどうかな思うんですけど、1 年か 2 年かけてゆっくりと活力・安全部会の委員の希望者、強制はしない方がいいと思ひます。中心に、お客さんとして千林商店街振興組合、各商店主、京街道商店街、各商店、それから千林商店街へつながる小さな商店街をこつこつ訪問して、意見を集約していつてはどうかと。なかなか信頼関係できないと語ってもらえないので、それから商売の邪魔になりますのでね、やっぱり。

高齢者が、私も高齢者ですけども増える中で、家の近くのスーパーで必要な物を全部安く購入する傾向があります。千林商店街でも、老舗ですけどもね、専門店の方々も後継者がなくて困っているところもあるかと聞いております。そういうことで意見を出しました。

#### ○田中 部会長

続いて、その裏面に書かれております経営課題 4 のところも書いていただいておりますので、またご説明の方を併せてお願いできますでしょうか。

#### ○松本 委員

はい。地域防災力・地域防犯力の強化ということで、きちんと「広報あさひ」が届けられていますのでね、もう隅から隅まで読んでおれば情報が入ってきます。届けられておって

も、すぐにマンションのごみ箱にほかす方もいらっしゃるんですけど、これはどうしようもないですね。

「広報あさひ」が届けられておると思うんですけど、新しいオートロックマンションとか、町会に入会されておられないところもあるかと思いますので、この辺の、どうすればうまく「広報あさひ」が届けられるかということと、それから、独り暮らしの高齢者見守りで、いろいろ巡回されているんですけども、緊急連絡先とか、かかりつけの病院とかお医者さんとか、そういうのを記述した、社会福祉協議会はオレンジカードを作ってますけれども、そういう場所で家の中に貼るとか、家出るときは、もう離さず健康保険証と鍵を持って、それも持っていくことを徹底する必要があるんじゃないかと思います。

○田中 部会長

どうもありがとうございました。

続きまして、阪本委員様の方から提案のご説明ということ、よろしくお願いします。

○阪本 委員

座ったままでよろしいでしょうか。なるべく簡潔明瞭に申し上げたいんですが、語れば多く語りたんですけども、まず、やっぱり新しい委員の方、どんな意気込みで、どんなビジョン、あるいはどんなお考えかなっていうのが非常に興味がありますね。各やっぱりご代表で来られていると思うんで、私は防犯なんですけれども、そこからの意識を喚起しまして、皆さんにいろんな意味でインスパイアを受けたいなど、そんな抱負を持っていますね。

1つ目は、コミュニティの活性化とまちの魅力の創出。経験則で恐縮ではございますけれども、私は旭区で生まれました。高校時代まで育ったんですよ。東京へ行きましてね、名前を言った方がいいんでしょうか。やっぱり住みたい街のランキングがありまして、ランク付けは別にしまして、憧れがあったんですね。吉祥寺っていうところに住みたいなと思いました。家賃も高かった。でも、やっぱり魅力があったんですね。何の魅力かっていえば、やっぱり文化のにおいがしたんですよ。まあ、武蔵野っていうのもありましたし、もちろんコンパクトな街、公園も井の頭公園があって、サンロードがあって、ロンロンがあって、非常に開発途上というのが、やっぱり若い人がたくさん集まってきたんですね。何でしょうね。魅力っていうのは、やっぱり文化のにおいがして、食べるものもおいしい、物価が安いとかいっぱいありますけれども、人間はどうなるのかなって考えれば、やっぱり魅力って何かなって考えました。ここに、後で時間があればお読みいただきたいんですけども、やっぱりそういう魅力のあるまちづくりにしていきたいなっていう、私も片隅で区民の一人と考えております。

逆に、文化のない町にも住んだことがあるんですよ。転勤族でしてね、社会人になって。先輩が言ったんですよ。これ、名前出したらちよっとはばかりますけどね。やっぱり生産

的なところで、工場がやっぱり企業城下町でありましてね。やっぱり文化のにおいが少ないところがありましてね。無理から行政の方で箱物を造って、体育館、あるいは美術館、造ったんですけど、なかなか定着しないなっていう、そういう経験もしてます。

だから、私自身もまだ考えてる途中なんですけれども、魅力は何か。人が集まるっていうか、どういうことなのかなっていうことを今考えつつありますので、皆さんのご意見も拝聴しながら、まちづくり、非常にシンプルな基本的なところを言ってるかも分かりませんが、齟齬があるかも分かりませんが、その辺、素晴らしい旭区にしたいなという気持ちは人一倍持つてつもりなんで、そういう意見で具体例として1から4まで書かせていただきました。

まずは以上ですね。

#### ○田中 部会長

どうもありがとうございます。

それでは、先ほど全体の会議の中で報告されました、その令和2年度の旭区の運営方針、素案の経営課題3、4に関することと並びまして、今御説明を頂きました事項につきまして、ここで皆さま方からのご意見を頂戴したいと思います。

今回初めての部会という方が、私も含めてそうなんですけれども、多数いらっしゃいます。そういう中で、なかなかやっぱり緊張するところがございます。口元の方の筋肉を緩めていただいて、ざっくばらんにご意見を頂戴したいと思います。

なお、本日なんですけれども、基本的に区役所の方に答弁を求めないということ。要は、皆さんの中で意見の交換をし合う、それから、自分の思っていること、どんなことでもええと思うんです。そういうものを出し合って、意見交換という形をお願いをしたいと思います。

また、多くのご意見が出る場合に、簡潔に、また意見をお願いしたいと思います。また、最初、全体会議でもありましたけれども、ご発言をされる前には必ずお名前の方を言って、「私は誰々です」というような形で対話をしていただきたいと思います。

それでは意見交換の方を始めさせていただきます。どなたか、口火を切るということはなかなか難しいかも知れませんが、ご意見を頂戴したいと思います。基本的には、せっかく集まっておりますので、最低でも一人一言はご意見を頂くというような形で、今後とも進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。どうでしょうか。

まずよろしくお願ひします。

#### ○上村 副部会長

上村です。

めざす状態っていうことと戦略っていうことと、そして令和元年というふうに、またこの2年の取り組みということで、こういう形式で書いている、今回やっているんですけど

も、せっかく私たちが、今、部会長が言いましたように、私たちだけで意見の交換をしようという、区役所、課長等には答えを求めないという話ですから、ちょっと検討の方式を変えていただくということを提案したいなというふうに思っています。

じゃ、めざす状態というのは、これ、区長が決めたことですから、このめざすためにはどうあるべきか。どんなふうなんが理想なんかとか、そんなんをみんなで出し合っていくっていうことが、まず最初の私が思った、阪本委員の言うたことに大きくつながっていくんじゃないかなと。併せて、半分半ぐらいでしょうけども、松本さんが言うた実際に歩いてみるっていう、本当にそれが現実のお話であるもんで、だから、めざす状態になるためには、じゃ、どんなことをせなあかんの、どんなことを狙うのかとか、そういうことをみんなで出し合って、そして、ある程度出し尽くした上で、じゃ、そのためにどんな戦略立てたらええんかとか、そういうことをみんなで知恵を出し合っていて、それを区の方に反映していってもらってという方式をとっていったらどうかなというふうに提案をさせていただきたいなと思います。

それと全く全然別の提案ですけども、今、全体会議の終わった後、とある課長と話したんですけども、そんで聞いたんですけど、「もう、ちょっと喉渴きますね」って。昔、お茶ぐらい出たと思ったのに、「お茶もやっぱりいろんな問題で出せないんですわ」っていう話で、ちょっとここでこのメンバーだけでも、500円会議でもちょっとストックして、事務局の方にそれでお茶ぐらい、1本ずつ、この会議のときには用意していただくとか、何かそんなんを、何か500円という、何かこのあれは別ですけど、そんなんをちょっと、本当にみんなで部会長が言うたようにしゃべれるように、そういう環境作り、こういうことが、あめちゃんでもいいと思うんです。そんなもんがあってもええと思うんですね。ちょっと喉あめを、そんなん何かした、本当にアットホームなしゃべりやすい会議になればなっていくふうに、これも併せて提案させていただきたいなっていくふうに思います。

以上です。

#### ○田中 部会長

大変貴重な意見、どうもありがとうございました。

そういう意味で、やっぱりどうしても会議となったら、緊張したりしますんで、なかなか自分で頭の中で思うてることも、口へ出すときにはなかなか難しい。実際に今僕がしゃべってるときでも、何かどきまぎして言うておる状態なんですよ。だから、そういう中で皆さんの貴重なご意見というのを頂きたいと思いますんで、まず自発的に、活発にご意見を求めたいと思います。よろしくお願いします。

#### ○齋野 委員

すみません。主婦の立場からなんですけども、齋野です。よろしくお願いします。

主婦の立場から言わせてもらおうんですけども、千林商店街を歩いていましたら、自転車

がすごく走っているんですよ。それ、皆さんご存知だと思うんですけども、気を付けて歩いているけども、自転車がものすごいスピードで走ってくるっていうことは、気を付けてもちょっと危ないなと思うて、コーン立てていますね。それ、もうちょっと狭く立てられないかなと思うて。何個か、今、1つか2つぐらいしか立ってないんですよ、ドラム缶の。そしたらね、私も赤十字の募金のときにちょっと立たしていただいたときに走ってはったから、「ここは通行禁止ですよ」と言うたんですけども、全然聞いてくれないで、そのまま走っていきはる人がおるんですね。そこをもうちょっと厳しくしていただきたいなと思います。

以上です。

○田中 部会長

商店街の中を自転車が走るっていうことでしょうか。

○齋野 委員

そうなんです。

○田中 部会長

確か、危ないことは危ないに決まっていますけれども。

○齋野 委員

それで、お年寄りが多いですもんね。

○田中 部会長

10時から駄目なはずですよ。それ、どうやったら一般にね。一人ひとりの意識の問題。本当に意識の問題なんでね。

昔に比べたら少なくなっているんだけど、やっぱり逆に高齢化の比率が高まったら怖く感じますよね。昔はもっとも、「文句あるのか」というぐらい、自転車で突っ走るような人もたくさんいたけど、少なくなったけれども逆に怖くなってくるということやから。本当、意識の問題ですね。道路改良とか、そんな交通安全の啓蒙とは全く経路の違う問題で。ただ、マナーは良くなっていると思うんですけどね、大阪、いろんな面ではね。

並ぶようになったし、それこそたばこのポイ捨てとか、もう今年のG20でもあれだけ、本当に51%、開催地の車が、市内の車が減ったっていうんだから、大阪って一般のイメージと違って、こんなに従順な人たちだったんだろうかと思うぐらいなんですけどね。ただ、ちょっと優しさ足りないですね。確かに自転車は減っても、高齢者の率が増えているんだったら怖いと感じる人は怖いですよ。そういう問題がある。

○田中 部会長

はい、どうぞ。

○梶村 委員

すみません、こんばんは。耳の痛い話で。

私、旭防火協会の代表でもあるんですけども、千林商店街を代表して来ておりますので、また何なりとご意見等ありましたらよろしくお願いします。

今の自転車マナーなんですけども、月に1回、大体頭に、警察の協力も得まして、私たち、長副、いろんな理事を引き連れて、もう端から端まで「降りてください、降りてください」言うて活動してまして、店のはみ出しも極力出さないようにと、そういう注意喚起を行っております。でも、そのときでも、やっぱり乗ってはる人が「降りてくださいよ」って言うところ、警察の方が言うてくれてやっと降りるとか、それでも、聞いてもさっと行く人もやっぱりありますし、これはほんまにその方のマナー、気持ちでしかないと思うんですね。だから、上にストリーマーも吊っていますし、ドラム缶も何カ所か置いているんですけども、そのまたドラム缶もね、やっぱり店主が出し入れしてもらわんと、夜は車が通りますので、その問題もあるんでね。あまり会員さんに、商店主にもお願いばかりできないので、何体かは置かしてもらっていますけども、商店街としてもいろいろと知恵絞って、お客さまにも快適に買い物していただき、そういうマナーの向上運動はしておりますので、まだお気付きのことありましたら、ご意見ください。よろしくお願いします。すみません。

○上村 副部会長

どこの町やったか忘れちゃったけども、子どもたちにそれをパレードのような、何ちゅうんですか、後ろ、ぞろぞろ行く、何でしたかね。そういうふうにして子どもたちに、そういう降りましよういう、して宣伝にしている、どっかの行政があったと思いましたがね。それをうたい文句に。

それで、また今日の朝のニュースでしたかね、どこの国でしたかね。何かごみ拾いのお金を出して川の掃除をしている。NHKでニュースで言うておりましたけども、結局、今回のこのマイナスのイメージを、これを逆手に取って、活力あるまちづくりの、何かそういう運動に広げていく、そういう発想をすることが私たちの今回のこの部会の役目じゃないかなと思うんですけども。やはり駄目、駄目って言うんではなくて、やはりそこを逆発想できる知恵を出し合っていくことをしていかないと、この区の活力に一助になっていかないんじゃないかなと思う。だから、そんなんをボランティアで立ち上げる、何かそういう若い子をまず探そうとか、何かそんなんにしたらどうでしょうか。

○田中 部会長

他の方、いかがでしょうか。

○小林 委員

小林です。もう名前を覚えられたかも分かりませんが、基本的な形で、私、この活力部会に入ったんですけど、さっきの子育てと違って、非常にテーマについては難しい。子育ては、もう今はすぐ決まるもんじゃないし、先々のことも考えることも福祉ですからいいんですけど、この活力と魅力とかコミュニティ、これはもうテーマは簡単ですけども、言葉でも言えるんですけども、実際は非常に難しいと思います。

ここの皆さんで考えてほしいのは、私、前も一回委員になったときに言うたんですけども、旭区で、まず魅力あるとこ。旭区は、まず病院、それから買い物、スーパーも含みましてですけど、それから交通の利便性、それから緑、公園が多いと、こういうのが非常にあるんですよ。そういうのもっと知らなあかんのと、それと、教育につきましても、部会じゃないんですけど魅力ですから言うんですけども、小学校とか保育園、乳児院、そこから始まって、大学、大阪工大ありますから、大学まで一貫してずっとある区というのは、旭区以外あまりないんですよ。あと1カ所ぐらいしかないんですよ。その辺からいくと、教育面でもずっと旭区におれば、生まれてから保育所から始まって大学まで行きますよというような魅力はあるんですよ、みんな気付いていないだけで。そういうのもっと発信して、私も、皆さんの意見も聞かないかんわけですけど、何も旭区が大阪市で一番になる必要はないんです。旭区に住んでいる人が一番と感じたら、それでいいんです。だから、旭区に住んでる人が住みやすいということで、他から来て助けてもらう必要はないと思います。私なんか、特に旭区で育ってますんで、旭区でいいと。

その中で考え方として、昔のわれわれ、20年、30年前と違って、今、ものすごい周りの環境が変わっています。例えばさっきおっしゃいました、千林商店街にしましても、昔は何もなかったんです。商店街でおっちゃんがおって、他に店がないからおばちゃんが出て行って、それで日常の会話をして、絆を通じて、交流を通じて買い物して人が集まった。今、どうですか。もう昔あったイズミヤ、ダイエーの発祥の地やいうて自慢していますが、そのダイエーも危ないし、それからあと、イズミヤ、長崎屋、ニチイ、全部あったのがなくなりました。何でか。やっぱり環境の変化なんです。もう地方に行きましたら、大型スーパーができて駐車場がある。千林の一番の弱点は駐輪場、駐車場がないという点なんです。だから大きな買い物ができない。その辺の現状をよく分析して、昔と違うと。それから、近所に、今までなかったコンビニとかスーパーができていますよ。数年前には全然なかったんですから、そういう環境の中でどう活性化していくかというようなことを考えていかないかと。

同時に、人です、これからは。単に個性化いうのだけではないし、各連合町会においても人の問題、後継者の問題、いろんな面でいろんな団体ありますけども、人で悩んでいます。だから、その人を大事にする中で、役所の中でできるものは役所に、地域でできるも

のは地域にということ割りでるんですけど、だんだんと地域が難しくなってきました、高齢化が。しかも何年か先には、国民はもう70歳まで働けといいますと、70過ぎて町会長とか連合町会をやるような人が出てこないと思います。今までは65、あるいは55で定年でしたから、しばらくしたら、「そうしたら、お世話になってるんやからやろうか」という人がおったんです。あるいは店でも、長く商店をやっておられたら、「地域で皆さん、お世話になってるからやろうか」ということで町会長の役にやってもうたんですけど、今、もう個人の商店、なかなか大型に食われて減っていつていますので、その点の現状をまず認識して、その中から魅力ある、あるいは元気にしようかというのが一つの基本にして、ちょっとええ格好で言えば、この部会が2年間、ワンチームで頑張れたらええかなと思っています。よろしくお願いします。

#### ○田中 部会長

ありがとうございます。大変貴重な意見でした。

他の方のご意見もまた頂戴したいと思うんですけども、いかがでしょうか。

方さんですね。

#### ○方 委員

人権協会の方といいます。年齢的には42歳でして、多分皆さんの息子さんとか娘さんとかぐらいの年頃なのかなというのと、あと、僕自身は今、こども食堂を地元でしていたりとか、そもそも子どもの取組をイメージしていたので、こっちの方は初めてでして、コミュニティでは、われわれの地域の中でもまちづくり運動という形でもしていますので、先ほど何か、飲み物に関しては区役所さんからお金といいますか、ではなくて、何か防災とかで余った水、賞味期限近いものというのがあれば、ここに出してもうたら、何か飲み物飲めるのかなというふうに、ちょっと発想の転換をしてみました。

あと、そういう意味で僕たちも、僕の世代は、僕、42で、僕たちの若い世代というのが本当に外に出ていつていて、僕ら同級生でも、僕、生江小学校、大宮中学校と、高校は他府県の方に行ったんですけども、まだやっぱり地元で活動している同級生もいてまして、福田先生、ちょっと僕、同級生なんですけど、初めてこの間「年、一緒ですね」ということを知りまして、本当にこれからの世代が旭区に本当になかなかいてないのかなという雰囲気も、僕自身も地元で実感、実はしながら過ごしている状況です。

ぜひとも、僕、いつも思うのは、地元で子ども会もやっているんですけど、実は城北公園の横に住んでいるんですけど、実は子ども会で遊びに行こうと行ったときに、これ、区の課長さんにちょっと話したことあるんですけど、城北公園へ行かないんですよ。というのはなぜかという、遊具がほとんどない。子どもたち、僕、どこへ行くかといったら、わざわざ和泉とか堺の方の大きい公園へ行って、大きい滑り台の所とか遊具がたくさんあったりとか、ボール遊びが広くできたりとかっていう所に子どもを連れて行っている状況

なんです。

ぜひできたら、安心して住み続けられるという部分では、子どもたちが来るという意味で、この地区ってこういう楽しい遊具があって、バーベキューはちょっと淀川の方に行かなあきませんねんけど、何かそういうのもできたらいいんちゃうかなっていう、僕、実は子ども3人いますんで、育てながら、小さいときは城北公園に連れて行って行っていましたけど、もうほとんど城北公園で遊べない。遊べないというか、遊具もあまり無いので、そういう状況もあったりとかっていうのが若干。で、城北公園、先ほど言うてましたように、ああいう財産、多分旭区の中でも緑豊かな財産だと思うんですけど、われわれ、人権という視点で言いますと、例えば反戦平和という意味では千人塚っていうのもありますし、やっぱりそういう歴史があるという部分と、もう一つは、あの公園って夜本当に、明かりありますけど、僕、散歩何回かしていますけど、正直言うて暗くて危ないんですよ。何かそういう、ちょっとああいうところに、多分公園局にそれはなと思うんですけど、カフェとか何か入れてくれたらどうなんかなとかね。ちょっとおしゃれな公園も、最近大阪城、皆さん、ご存じだと思うんですけども、ああいう雰囲気、ちょっと流行っている雰囲気も少し、全部が全部しなくていいと思うんですけど、雰囲気をちょっと取り入れながら、公園の遊具もちょっと取り入れてもらって、そして歴史的な経過もあるという部分を織り交ぜたところに、年に1回お祭り、イベントをやっていると思うんですけど、そういうのもちゃんとありますよっていうのを宣伝できたりとか、せつかくあれ、何万人も来て、お金かけて、これ、多分何万人も来ているイベントだと思うので、何かそういうふうなところもできたらいいなっていうふうには僕自身はやっぱり思う状況です。

というのが、今、旭区のぼやとした、僕の中では。千林商店街は、僕、子どものときに自転車をグワーいって、どちらかと言うと荒らしていたというか、人の間をどう抜けるかっていう、楽しんでしまっていた子なので、正直、意見言えないと思いながら聞いておりました。でも、千林商店街も少し、やっぱり人通りも、すごく若い方が結構盛り上げていただいている雰囲気もあって、結構いいなというのもあるんで。

それともう一つ、こども食堂、7つあるんですけど、何か千林商店街さんから寄付とか、もっと頂ければなという……。僕の勝手な、旭区こども食堂ネットワーク会議というのがあるんですけど、そこにもちょっと入って入って、また、そういうのももし応援いただければ。

○梶村 委員

内容によって。

○方 委員

はい。またよろしくお願いします。

以上です。すみません。

○田中 部会長

ありがとうございます。  
どなたか、どうでしょうか。

○小林 委員

もう一回、質問いいですか。質問です。

1つは意見ですけども、先ほど上村さんがやっているような感もあるんですけど、やっぱり、ここへ例えばお茶、各自持ってきてもいいのかなどうか。その方がいいと思うんですよ。会費取って、また会計が要る。ややこしいことになりますしね。だから、各自お茶があったら、それもこういう会議でいいのかなどうか。それでよかったら各自持ってきたらいいですわ。それが一番早いと思いますよ。それが1つ。

それからもう一つ、質問したらあかんとか言いますが、この中で意見だけ言うて何も通らんかったら意味がない。そのためには、やっぱり予算のこの素案ももろうてます。その中にいろんな項目があります。それに対して予算の金額が入っています。この辺、われわれ、分からんわけですよ。何ここにこれだけ要るのか。そういうのをやっぱり入れて意見を言わんことには前に進みませんので、そのときに、やっぱりせつかく担当課長さんをご出席ですので、区長おれへんから、そういう質問がたまにはさせてもらってもいいんじゃないかなと。何もかもあかんで、われわれだけでせい言うたら、何かあまりこの中でやったら、意見どんだけ通んねんということになりますので、その辺、ちょっとまた検討していただければいいなと思います。

○上村 副部会長

お茶、持ってきてええと思うけど。

○田中 部会長

各自で持参するということですね。

○山本 防災安全担当課長

そうなんです。すみません。ちょっと、防災の水あるんですけどもね、カビ臭くて、ちょっとお出しできるような状況じゃございませんで、保管の状況が悪かったみたいです。実はもう廃棄致しました。次、またちょっとお配りできるのは、危機管理室からの物品ですので、ちょっとそちらからの指示がないと、ちょっとこちらの方も、いざというときのための水ですので、ちょっと今、この段階ではお配りができません。申し訳ございません。消費期限が近づいてきまして、危機管理室の方でという話があれば、ちょっとここだけではなしに、それであれば、もう全体会議でいう形になろうかとは思うんですね。

○田中 部会長

すみません。事務局の方にちょっとお聞きしたいんですけども、こういう会議の中で、特に食の方は当然駄目なことは私自身分かっているんですけど、飲料水、お茶とかお水とか、そこら辺のところは、この机の上に出して各自いただいても結構なんですか。

○松原 企画調整担当課長

ご持参いただいて、適宜水分を取っていただいて結構でございます。

○田中 部会長

ありがとうございます。皆さん、そういうことですので、皆さんの方の自分のご意思でもってしていただくと。改めて会費を取ってどうのこうのというのは、やっぱり会計とか、やっぱり出てきたりしますので、ちょっとご遠慮させていただきたいということでしょうか。

○全員

はい。

○田中 部会長

ありがとうございます。  
どうぞ。

○疋田 委員

城北校下から参りました疋田と申します。町会長をやっておるわけですけど、この会議ね、言うていろいろと意見出すけど、すぐ反映しませんわね。

確かにこの前も役所の方にも言うたけど、すぐ反映しないんですよ。頑張っているいろいろな意見を出しても、どんだけ反映しているのか、どんだけ返ってきているのか分からしませんでしたので、ここのところは、もうちょっと明確に答えが欲しいなと私はいつも思っておるんですわ。会議に参加しながら、そんなことを思いながら考えておるんですけど、皆さん、どういってお考えか分かりませんが、以上でございます。

○田中 部会長

今の御意見、事務局さんの方に対する、それは答弁という形ではなくて、多分ご希望という形のことだと思うんです。そういうことで、これ、これからの会議、要するに今回だけに限らず、そういう議題、テーマというものを議論しながら回答ですね。今回、回答するとかせんとかじゃなくて、そういうものを求めたいという、これ、私自身もそうなんです。

すけれども、やっぱりそういう気持ちは持っています。多分委員さんの方、みんなそうやと思いますわ。だから、やっぱり何かの形でそういうものを聞いておきたいな、それを基にして、やっぱり自分らもそういう旭区の中で少しでも力になっていける、みんなの力になっていけるというものを多分求めてはると思うんです。そういうのが無かったら、なかなか委員さんとしてわざわざここまで来て、どうのこうの言うことは多分ないと思いますんでね。ちょっと、そこのところだけまたご配慮、これからの意見としてお聞きとどめいただいたら結構かと思います。よろしくお願い致します。

他の方、どうでしょうか。林さん、どうでしょうか。

#### ○林 委員

林と申します。

基本、旭区は住みよいと思うんです。私も、この旭区で生まれて育ちまして、ずっと名前は変わったんですけど親のそばにおりまして、今日に至っております。

先ほどからおっしゃっている仕掛け学といいますかね。テレビで見たことあるんですけども、例えば病院に行ったときに、消毒剤を置いていても誰も消毒しないんだけど、そこにローマの休日が出てきた、ありますよね。丸い、ぱっと手を入れる。あれの中に消毒剤を入れてみたら、みんなが思わず手を入れて押して手に消毒したと、そういうニュースが流れておりましたので、やっぱり何かしたいような仕掛けを作っていくというのも大切かなと。

さっき方さんがおっしゃったみたいに公園の魅力、私、城北公園って、ちょっと残念と思うのが、事務所が鶴見緑地の方に行きましたよね。やっぱり事務所が公園の中にあつたときの方が、菖蒲園見に行ったときでも、何か、何か違うなっていうのを感じてしまいますのでね。やっぱり大阪市の施策か何かよく分からないんですけども、どうしても鶴見の方に集約されてしまうのがちょっと寂しいなって思っております。そんなところで、またよろしくお願い致します。

#### ○田中 部会長

どうもありがとうございます。

時間の方、そろそろ何か押し迫ったような状況ですので、そろそろ会議としては閉めていきたいかなと思っております。そういう中で、最後、これだけはちょっととりあえず言っておきたいというところを出していただければええんかなと思うんですけれども。

#### ○阪本 委員

行政の、旭区役所の課長さんはじめスタッフの方、本当にありがとうございます。

ということは、私が3度目と申し上げましたけれども、一言一句、多分ICレコーダーで、昔はテープ起こしと言ってたと思うんですけども、そのあたりはきちんとやっぱり反

映していただいている。その辺はありがたいなと思いますね。

それともう一つは、やはり区の行政だけじゃなくて、いろんな意味で政治の絡み、あるいは、いつも花田区長がおっしゃるように、2月の22日、山本課長、キーパーソンでございまして、消防、あるいは警察ということで、私は再度申し上げますけれども、防犯協会から参っているわけですけれども、そのあたりの連携を密にして、やっぱりお世話になっているなという実感はしております。資料作成もさることながら、やはり行政さんの、「行政さん」と言えば失礼かも分かりませんが、努力に対して、やっぱり敬意を表したい。そんな気持ちでいっぱいです。今後ともよろしく願います。本当にありがとうございます。

○田中 部会長

どうもありがとうございました。

それでは、意見の交換という形も、時間が来ておりますので、ここら辺とさせていただきます。

議題としては以上という形でさせていただきます。

また、事務局さんの方から何かご発言ということはございましょうか。

○松原 企画調整担当課長

松本委員から頂きました経営課題4の中、「地域防災力・地域防犯力の強化」の意見の中で、2つ目の丸でオレンジカードということ、文章があるんですけど、それなんですけど、ちょっと解説というか、しておきます。

名称としては「お守りカード」という、こういう、ちょっとすごく目立つやつなんですけども、このカードは、外出先で体調を崩したり事故に遭ったりなどして本人が話をできず、周囲に自分の連絡先を伝えるために書くため、ということで、早急に連絡先が分かるようにするためのものがございます。これ、また覚えておいていただければというふうに思います。

○田中 部会長

ありがとうございました。

○松原 企画調整担当課長

ありがとうございました。それでは、以前の区政会議では、区政会議当日に意見を発言できなかった場合、所定の用紙に記入の上、後日区役所にとということでやっていたんですけども、今回、ちょっと事前に意見を求めるということを見せていただきましたので、今回、後日の意見徴収というのはちょっと行っておりませんので、ご了承いただきたいと思っております。

それでは、これで区政会議の活力・安全部会を終了いたします。

本日はどうもありがとうございました。部会長、どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

○田中 部会長

どうもありがとうございました。

○松原 企画調整担当課長

次回につきましては、また日程調整をさせていただきますが、今現在書いてある予算は、本当は予算要求中ということなので、かなり変わる恐れがあるんですけども、予算案として固まって以降になりますので、2月ごろ、2月下旬かなというぐらいにまた調整させていただきたいと思います。

年間、全体会議が3回、部会が3回を予定しております。

本日はどうもありがとうございました。お気を付けてお帰りください。